

雄志・八千浦中学校区 同和教育だより

<雄志中・八千浦中・諏訪小・戸野目小・上雲寺小・高士小・八千浦小 共同発行>

[平成 28 年 12 月 No. 7]

カミングアウト(告白)の勇氣

11月21日(月)に雄志中学校で、人権についての講演会が行われました。「人々があるのままだに表現することができ、またその存在を許しあえる社会の実現」を目指して活動されているお二人を招き、熱いお話をお聞きしたり、話し合ったりしました。

あみや ゆうき さん 「強くて、寛容な社会を！」

東京生まれ。いじめに苦しんだり、自らを見つめて悩んだりしながら学生時代を送る。友や親、そして全ての人たちに、ゲイであることをオープンにする。現在、大切な人へのカミングアウトを応援する NPO 法人「バブリング」、また、児童養護施設から社会へ巣立つ子供たちを応援する NPO 法人「ブリッジ・フォー・スマイル」職員として活躍中。

まつなわ せいじ さん 「子どもの選択肢を広げよう！」

諏訪小、雄志中の卒業生。何をすることも挑戦者でアイデア勝負。高校卒業後の海外留学を経て企業に勤務。現在は東京暮らし。新規事業戦略や業務改善に活躍。「子供たちの選択肢を広げるプロジェクト『offsprings』」を立ち上げた。

～参会者の感想～

<中学生保護者>

特に、網谷さんの人生を聞いて感動しました。自分の今までのことを振り返りました。ぜひ、今度は中学生に講演をしてもらいたいです。

<小学生保護者>

ただ子供のそばにいたということがどれだけ大切か、教わりました。子供が、悩みを言ってくれるような大人でいたいと思いました。

<地域住民>

性的マイノリティの方が、調査で8%おられると聞いて、驚いた。私も知らずに、相手を傷つけたことがかなりあったか、と反省した。

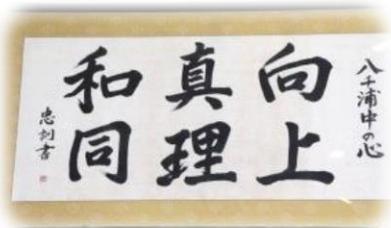
<教員>

当事者のお話をお聞きでき、会場に来られていた同性の恋人同士の方にもお話を聞けたりして、大変有意義でした。まず私が、「強く、寛容な人」になろうと思いました。



平日にもかかわらず、各校区から多くの方にお集まりいただき、人権について考え、思いを共有することができました。誠にありがとうございました。

《各校の実践紹介⑥ 八千浦中学校》



八千浦中学校では「和同を重んじ 向上をめざし 真理を追究する生徒」を教育目標とし、様々な活動を行っています。今年度は人権教育月間を6月と11月14日から12月16日までの年2回設定し、道徳の時間や同和学習の時間を中心に、いじめや差別、偏見を見抜き、許さない態度を育てています。

生徒会による陰口ストップ運動

1学期に総務委員会、生活委員会、級長会による陰口ストップ運動を行いました。まず、6月に学校生活アンケートを生活委員会が作成し、全校生徒が記入しました。アンケートの集計と分析を各学年の級長会と総務委員会で行い、どうすれば陰口がなくなるのかを話し合っって考え、各学年で実践する内容を生徒朝会で発表し、全校生徒に意識付けを行いました。その後7月に事後アンケートを行い、運動前に比べて陰口が少なくなったと答える生徒が増える結果となりました。アンケートの作成から集計、呼びかけなどは全て生徒が行い、自分たちの学校生活がより良くなるよう活動していました。



同和教育講演会「ぬくもりを感じて」

11月15日に、講師に徳島県同和地区青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局の中倉茂樹さんをお迎えして、同和教育講演会を実施しました。全校生徒、保護者・地域の方々からも参加していただきました。

壮絶ないじめの体験や人とつながることの大切さ、自分が感じたぬくもりを他のたくさんの人たちに伝えていきたいということをお話いただきました。生徒たちはそれぞれにいろんなことを感じ、考えたようです。感想を一部紹介します。

- ・もしも私がいじめを受けたら、本当に助けてくれる友達をつくりたいし、いじめをされている人がいたら、だれかに話して助けてあげたいと思いました。今日をきっかけに人にもっと優しくしたいし、たくさんの人たちに支えられていることに感謝して、人にぬくもりを与えていきたいと思いました。
- ・差別はすぐになくならないかもしれないけど、ぼくたちが差別のことを考えて行動すれば少しずつなくなっていくと思いました。
- ・どんな姿の自分でも、その自分を認めてくれる人が本当の友達なんだと思いました。
- ・今後もしいじめなどを見たら、見て見ぬふりをするのではなく、「やめなよ。」と一言言えるような人になりたいです。
- ・生まれや育ちで差別するのはおかしいと改めて思いました。誰かの差別する心をなくしていくことは難しいかもしれないけど、自分がまず差別をしなければ、周りの人も少し変わるかもしれないと思いました。
- ・小さなことでも自分ができる何かを見つけて行動することが大切だと思いました。
- ・それぞれみんな個性があり、みんな一緒じゃないからこそ、相手のことをよく知っていくことが大事なんだと思いました。
- ・同和問題が少しでもなくなればいいと思います。そのためにまずは自分たちの周りから・・・。
- ・ぬくもりを感じるためには、まず自分からみんなにぬくもりを感じさせられる人になりたいと思いました。